



ふくおか【Good👍】農業人100
 主な農産物／米、麦、ナス

阿部 政和さん (37歳) (営農地／みやま市瀬高町)

頑張った分だけ利益があることが魅力

《就農のきっかけ》

将来は農家の後を継ぐ

阿部さんはもともと実家がナス農家であったため、小さいころから跡を継ぐ意思がありました。そのきっかけは子供の時にふと見たある1日のナスの売上伝票でした。それを見て、「農業ってこんなに儲かるの?!」とびっくりしたそうです。その後県農業大学校へ進学、「一度は農業の外の世界を経験したい。」と卒業後は福岡市の会社に就職しました。

5年ほどのサラリーマン生活の後、20代半ばで就農した阿部さん、農業という仕事は頑張れば頑張った分だけ儲かることが魅力だと感じています。

《これまでの過程》

いざ自分でやってみると難しい

やり始めてから周囲の人に、「一人で管理をしないと、ナスのことはわからない。」と言われた阿部さんは、父に相談して、2ヶ所あるハウスのうち1ヶ所の栽培管理を全面的に任せられました。しかし、いざ自分でやってみると失敗の連続だったと語る阿部さん。かん水のタイミングがわからなかったり、病気が多発してしまったりと、ナス栽培の難しさを痛感しました。

今年で就農して13年が経ち、いろいろな失敗を乗り越えて、ナス栽培にも慣れてきました。今となつては、ハウスの全面管理を任せしてくれた父に感謝しています。現在はいかにしてナス栽培を省力化できるか、を考えています。また、新規野菜である博多蕾菜の栽培にも取り組んでいます。



プロフィール

- 家族構成／父、母、本人、妻、子ども1人
- 前職／観葉植物のリース業 ■営農年数／約13年
- 耕作(経営)面積／米(1.5ha)、麦(1.5ha)、ナス(29a)
- 販路／JA共販

《これからの展望》

時代に適応することが重要

近年は資材や燃料が高騰し、農業にとっては逆風が吹いています。また、両親も高齢になってくると、阿部さんはこのような時代に合わせて動いていく必要があると感じ、省力化やコスト削減を検討し、試行錯誤をしています。

阿部さんには農業でどれだけ儲かって、そのことで、忙しすぎて気持ちの余裕がなくなったり、体調を壊したりするならば意味はないと考えます。「自分にとっての幸せは、家族と幸せな時間を過ごすこと。」と語る阿部さん。家族の存在は、仕事の最大のモチベーションとなっています。家族のために、農業の仕事にしっかり取り組みます。



Good👍 成功のためのポイント

人の意見を聞くのも大事だが、それは参考にして、自分なりに考えて、ぶれない自分自身の考え方を持つ。その上で自分の夢を持つこと。その夢を実現するために、どのように農業に取り組むかを考えることが重要です。また、いろいろな組織に加入し、仲間をつくることも大事です。